

# 青山学院大学第36回史学会大会

日時: 12月10日(土) 午前10時10分開会

会場: 青山学院大学 渋谷キャンパス 2号館236教室

10時10分～20分: 開会式(236教室)

10時30分～12時25分: 本学大学院生による研究報告

- 第1会場(232教室) 日本史
  - ・岡本美佳「光明皇后と浄土教-東大寺阿弥陀堂との関係-」
  - ・吉澤哲平「推古朝の外交」
  - ・岩井康平「日本中世の非人についての一考察」
- 第2会場(230教室) 東洋史・西洋史
  - ・紺谷美佐子「魏晋南朝における潁川の名族」
  - ・須戸優梨奈「19世紀ドイツにおける女性体操」
  - ・福田美由紀「18世紀ドイツにおけるフランスの影響」
- 第3会場(234教室) 考古学
  - ・立原遼平「常陸国における施釉陶器の出土状況についての一考察」
  - ・井上真由香「城郭と城下町の関係性について-滋賀県の城郭を例に-」
  - ・梶木理央「近世土製品の研究とその課題点」

15時～18時: シンポジウム「イギリスのEU離脱の歴史的淵源とゆくえを探る  
—中世ヨーロッパと近世イギリス—」

- ・挨拶: (236教室)
- ・講演1: 川北稔(大阪大学名誉教授)  
「EU離脱とイギリスのゆくえ—英仏海峡が嵐になるとヨーロッパは孤立する—」
- ・講演2: 渡辺節夫(青山学院大学名誉教授)  
「中世ヨーロッパの一体性とその変容」
- ・ディスカッション
- ・コメント

18時: 閉会

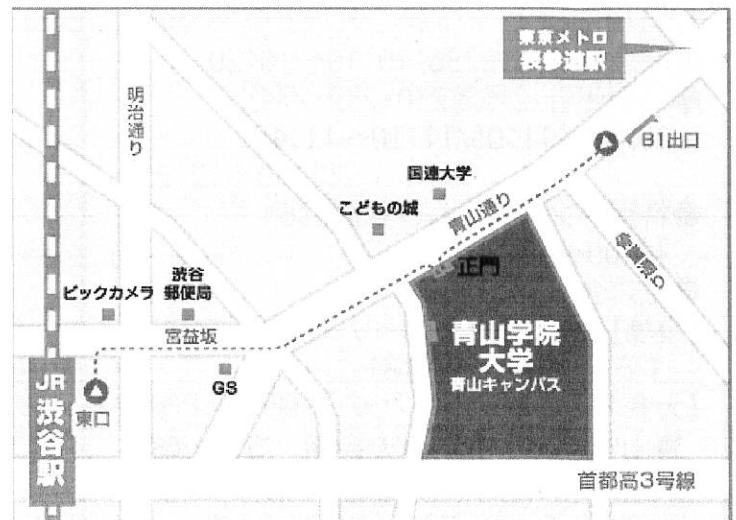
## 【交通】

・渋谷駅から  
東口から宮益坂を上り、青山通りを進んだ先、右手側に見えてきます。(徒歩15分)

・表参道駅から  
B1出口を出て青山通りを渋谷向きに直進すると、左手に見えてきます。(徒歩10分)

## 【会場】

青山キャンパス正門を入り、右手に見える3階建ての建物(裏面にキャンパスマップ添付)



# 【青山学院大学史学会・特別シンポジウム】

## 「イギリスのEU離脱の歴史的淵源とゆくえを探る —中世ヨーロッパと近代イギリス—」

12月10日（土）開催

### ● 基調講演

川北 稔氏（大阪大学名誉教授）

「EU離脱とイギリスのゆくえ  
—英仏海峡が嵐になると、ヨーロッパは孤立する—」

#### 講演者紹介

1940年大阪府生まれ。京都大学大学院文学研究科修士課程を修了、1967年京都大学大学院文学研究科西洋史学専攻博士課程中退。大阪大学文学部教授を定年退職後、名古屋外国語大学教授、国際高等研究所副所長、京都産業大学文化学部客員教授、佛教大学歴史学部歴史学科特別任用教授などを経て、現在は大阪大学名誉教授。専門はイギリス近世・近代史。主要著書に『工業化の歴史的的前提——帝国とジェントルマン』（岩波書店、1983年）、『民衆の大英帝国——近世イギリス社会とアメリカ移民』（岩波書店、1990年／岩波現代文庫、2008年）、『イギリス近代史講義』（講談社、2010年）、『世界システム論講義—ヨーロッパと近代世界』（筑摩書房、2016年）。

渡辺節夫氏（青山学院大学名誉教授）

「中世ヨーロッパの一体性とその変容」

#### 講演者紹介

1947年山梨県生まれ。1972年東京大学大学院人文科学研究科（西洋史専攻）修士課程修了、1985年博士号（第111期、パリ第一大学）取得。香川大学教育学部助教授、青山学院大学文学部教授などを経て、現在は青山学院大学名誉教授。専門はヨーロッパ中世の貴族制社会と王権。主要著書に『フランス中世政治権力構造の研究』（東京大学出版会、1992年）、『ヨーロッパ中世の権力編成と展開』（東京大学出版会、2003年、編著）、『フランスの中世社会——王と貴族たちの軌跡』（吉川弘文館、2006年）、『王の表象——文学と歴史・日本と西洋』（山川出版社、2008年、編著）

12月10日（土）

●開会式（2号館236）10:10～10:20

●個別報告（2号館230・232・234）

10:30～11:05/11:10～11:45  
/11:50～12:25

●特別シンポジウム（2号館236）

15:00～18:00

●懇親会 18:30～20:30

【会場】青学会館（グローリー館3階「アロン」）

TEL:03-3409-8181

【大会お問い合わせ・シンポジウムお問い合わせ先】

青山学院大学史学会大会係 立原・須戸

E-mail:history2016.agu@gmail.com

渋谷キャンパス構内案内

